

DIGITAL PERCUSSION

DD-11

取扱説明書

YAMAHA

このたびは、
ヤマハ・デジタルパーカッション・DD-11をお買い求めいただきまして、
誠にありがとうございます。

DD-11は、
ヤマハが誇るデジタルテクノロジーを結集して完成させた
パーカッションです。

音源には楽器音をリアルに再現するPCM音源が採用されており、
叩きやすい8つの大型パッドそれぞれに、
40種類の中から楽器音を選んで割り当てることができます。
また、100種類の豊富なオートリズムやオートベースコード機能、
コードシーケンサー機能なども内蔵されています。

本書では、その魅力と操作方法を充分にご理解いただけますように、
順を追って説明しています。
実際に操作しながら、是非お読みください。

もくじ

	ページ
1. ご使用の前に	2
2. 電源のしたく	2
3. 各部の名称とはたらき	3
3-1. コントロールパネル	3
3-2. リアパネル	4
4. テモ演奏を聴いてみよう	5
5. 好きな楽器音で叩こう	5
5-1. パーカッションセットの選択	6
5-2. パッドとペダルへの割り当て	7
6. オートリズムを鳴らそう	8
6-1. コントロール機能	8
6-2. フットペダルの機能選択	9
7. オートベースコード演奏をしてみよう	10
8. コードシーケンサー機能を使ってみよう	11
8-1. 録音の方法	11
8-2. 再生の方法	12
9. MIDI機能でステップアップ	13
MIDIインプリメンテーションチャート	15
10. 他の機器と接続するには	16
11. オプション(別売品)のご紹介	16
12. おかしいな?と思ったら	17
13. 仕様	18
14. アフターサービスと保証	裏表紙



1. ご使用の前に

こんな所には置かないでください。



- ・窓際などの直射日光の当たる場所や、暖房器具のそばなど極端に暑い場所
- ・日中の車内
- ・温度の特に低い場所
- ・湿気やホコリの多い場所
- ・振動の多い場所

こんな所では使わないでください。



- ・ラジオやテレビのすぐ近くで使用されますと、ラジオやテレビ側で雑音が発生することがあります。十分に離してお使いください。

乱暴に扱わないでください。



- ・落としたり、物をぶつけたり、上に座ったりしないでください。また、スイッチ類に必要以上の力を加えないでください。傷がついたり、故障の原因となることがあります。

使わない時は…



- ・必ず電源スイッチを切ってください。
- ・電源アダプターを使用した場合は、家庭用コンセントから抜いてください。
- ・長い間使わない時は、乾電池を取り出してください。

美しく保つために…



- ・汚れは、柔らかい布でカラ拭きしてください。
- ・汚れがひどい時は、少し水で湿らせた布で拭いてください。
- ・アルコールやシンナー類は、絶対に使わないでください。
- ・ビニール製品を上に乗らないでください。貼り付いてしまうことがあります。

保管してください。



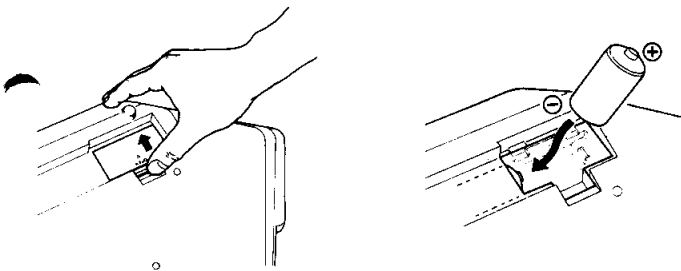
- ・この取扱説明書をお読みになった後は、保証書と共に大切に保管してください。

2. 電源のしたく

DD-11は、乾電池でも家庭用コンセントでも使えます。お使いになる前に、どちらかを選んで準備してください。

乾電池を使う場合

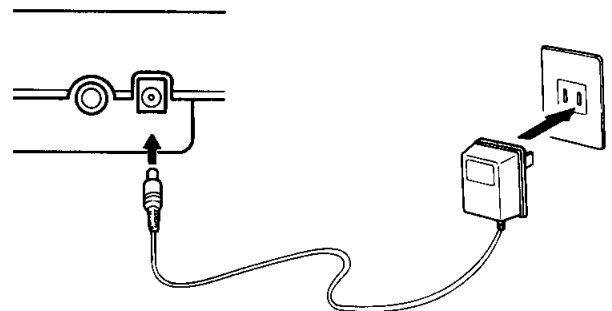
- ①DD-11を裏返し、電池ボタンを外します。
- ②付属の乾電池(単2乾電池)を6本入れます。向きを間違えないように入れてください。
- ③乾電池を入れたら電池ボタンを閉めます。



家庭用コンセントから電源をとる場合

別売りの電源アダプター・PA-3、PA-4のどちらかを使用します。図のように接続してください。

- ①リアパネルにある電源アダプター接続用端子(DC 9-12V IN)へ差し込む。



②家庭用(AC100V)コンセントに差し込む。

※電池が消耗しますと、以下の順序で症状が出ます。このような時は、6本共新しいものと交換してください。なお、お買い求めの際には単2乾電池6本とご指定ください。

(1)楽器音を鳴らしていない時：

- ・マルチディスプレイの表示が暗くなる。

(2)楽器音を鳴らしている時：

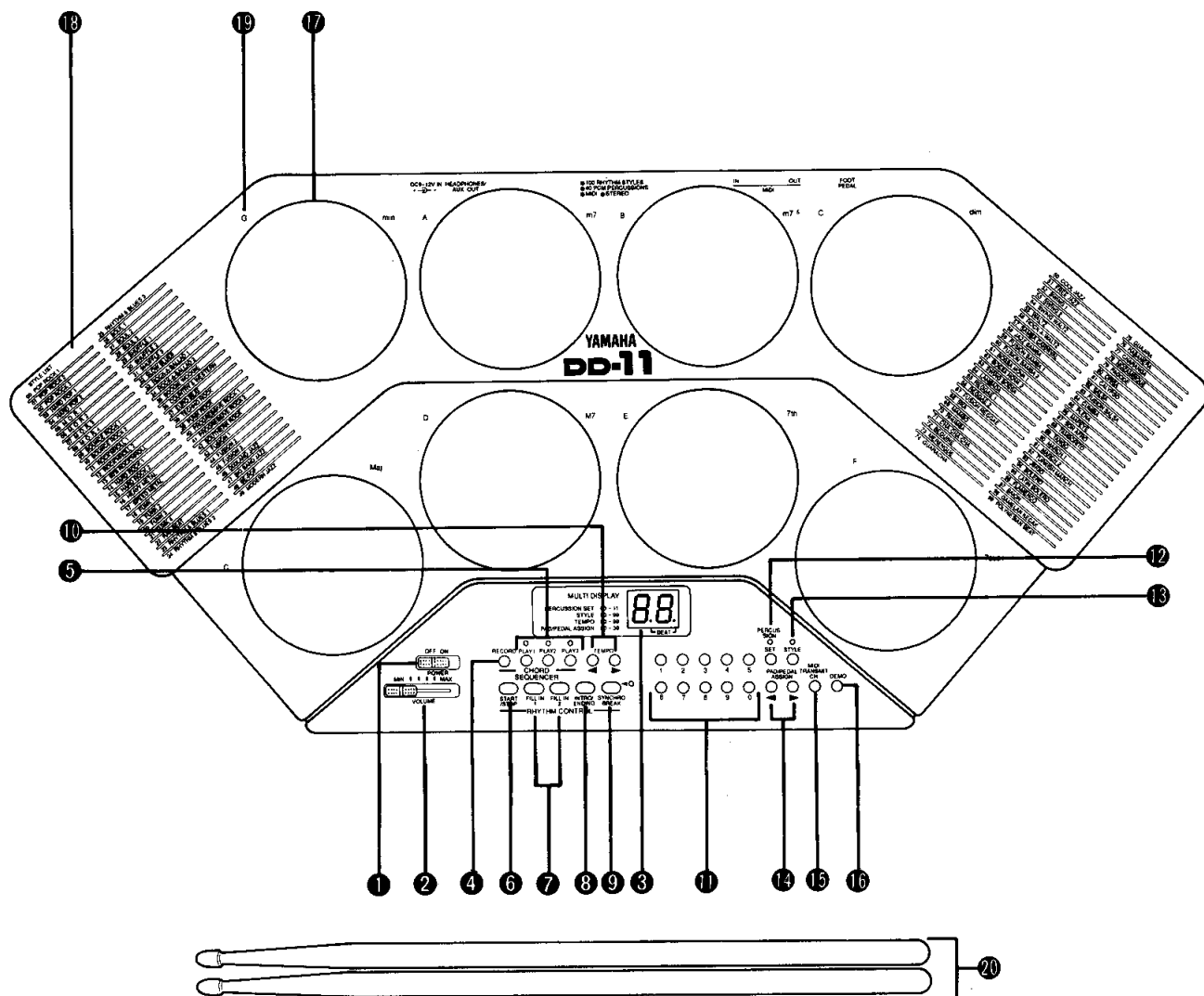
- ①スピーカーやヘッドホンから聞こえる音が歪む。
- ②マルチディスプレイの表示が消える。
- ③DD-11上で設定した内容が全て初期化される。(たとえば、自分で記憶させたコード進行、パッド/ペダルへの割り当てが消え、表示類も全て使い始める前の状態に戻る。)

※PA-3、PA-4以外の電源アダプターは使わないでください。他の電源アダプター使用による障害は保証しかねます。

3. 各部の名称とはたらき

→マークのところにくわしく説明してあります。

3-1. コントロールパネル



①電源スイッチ(→5ページ)

電源を入れたり、切ったりするスイッチです。電源を入れると、③の(マルチディスプレイ)に、オートリズムのスタイル番号00が表示されると共に、⑬の(スタイルランプ)が点灯します。

②ボリューム(→5ページ)

音量を調節するためのレバーで、右にずらすほど音が大きくなります。

③マルチディスプレイ(→5、6、7、8ページ)

オート(自動)リズムのスタイル番号やテンポの値など、様々な内容が表示されます。

④コードシーケンサー録音ボタン(→11ページ)

オートベースコードのコード進行を、記憶させる時に押します。

⑤コードシーケンサー再生1、2、3ボタン(→12ページ)

記憶させたオートベースコードのコード進行を、再生させる時に押します。

⑥リズムコントロールスタート/ストップボタン(→8ページ)

オートリズムをスタートさせたり停止させる時、オートベースコードを停止させる時に押します。

⑦リズムコントロールフィルイン1、2ボタン(→8ページ)

オートリズムやオートベースコードを鳴らしている最中に、フィルインのパターンを入れる時に押します。

⑧リズムコントロールイントロ/エンディングボタン(→8ページ)

オートリズムをイントロのパターンでスタートさせたり、エンディングのパターンで停止させる時、オートベースコードをエンディングのパターンで停止させる時に押します。

⑨リズムコントロールシンクロブレイクボタンとランプ(→8ページ)

このボタンを押してボタン上のランプを点灯させると、シンクロブレイクが可能になります。

※シンクロブレイクとは?

シンクロブレイクは、オートリズムやオートベースコードを鳴らしている最中に⑰の(パッド)を叩くと、パッドを叩いている最中は、オートリズムやオートベースコードの音が聞こえなくなる機能です。つまり、曲の途中で自分流のフィルインを入れることができます。

⑩テンポボタン(→8ページ)

オートリズムやオートベースコード、デモ演奏のテンポ(速さ)を調節するためのボタンです。

⑪1~0ボタン(→6、8ページ)

鳴らそうとするオートリズムのスタイル番号やパーカッションセット番号を選ぶためのボタンです。

⑫パーカッションセットボタンとランプ(→6ページ)

このボタンを押してボタン上のランプを点灯させると、パーカッションセットの番号を選択できる状態になります。

⑬スタイルボタンとランプ(→8ページ)

このボタンを押してボタン上のランプを点灯させると、リズムのスタイル番号を選択できる状態になります。

⑭パッド/ペダル割当ボタン(→4ページ)

各パッドとペダルへの楽器音の割り当てを変更したい場合には、これらのボタンを使います。

⑮MIDI送信チャンネルボタン(→13ページ)

MIDI送信チャンネルを設定する場合には、このボタンを使用します。

⑯デモ演奏ボタン(→5ページ)

デモ演奏を聴きたい時は、このボタンを押すことによりスタートさせることができます。もう一度押すと止まります。

⑰パッド(→5ページ)

自分でリズムを演奏したい時には、付属のスティック⑳でこれらのパッドを叩きます。パッドを叩くと、そのパッドに割り当てられている楽器音が鳴ります。

※パッドを、付属のスティック以外で叩かないでください。

⑱スタイルリスト(→8ページ)

100種類のリズムスタイル名が表記されています。

⑲コードタイプ表記(→10ページ)

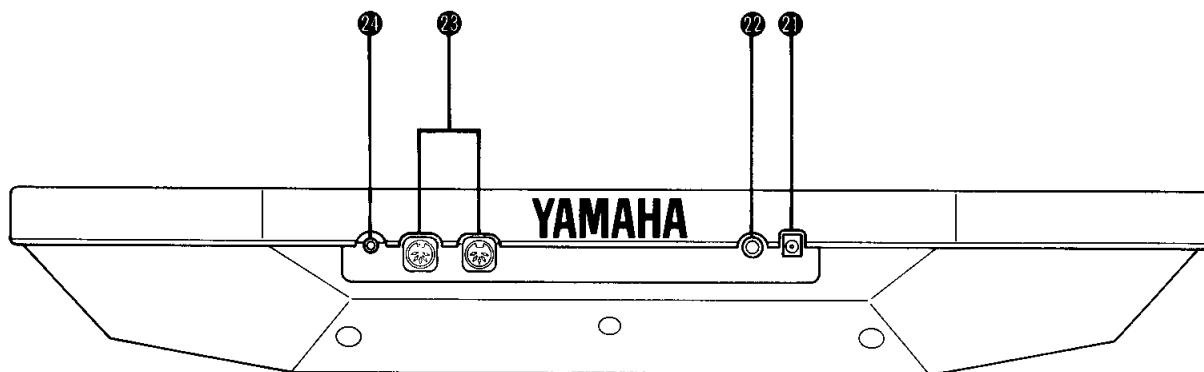
オートベースコードのコード指定の際の、各パッドの役割が表記されています。

⑳スティック(→3ページ)

パッドを叩くためのスティックです。

※付属のスティックで、DD-11のパッド以外は叩かないでください。

3-2. リアパネル



㉑電源アダプター接続用端子(→2ページ)

別売りの電源アダプター(PA-3、PA-4のどちらか)を接続するための端子です。電源アダプターを接続すると、家庭用の電源コンセントから電源をとって使用できるようになります。

㉒ヘッドホン/AUX出力端子(→16ページ)

DD-11の音を出力する端子です。ヘッドホンを接続して夜間に使用したり、キーボードアンプやステレオと接続してより大きな音で鳴らしたり、カセットテープに録音できます。この端子にプラグを差し込むと、DD-11のスピーカーからは音が出なくなります。

㉓MIDI端子(→13ページ)

他のMIDI(ミティ)機器と接続するための端子です。他のMIDI機器と接続するとMIDIコントロールを行えるようになります。

㉔フットペダル端子(→5ページ)

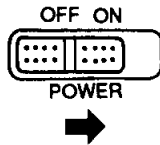
付属のフットペダルを接続するための端子です。フットペダル操作によりバスドラムの音等を鳴らしたり、リズムをコントロールするなど、様々な操作が可能です。

4. デモ演奏を聴いてみよう

DD-11には、デモンストレーション演奏が記憶されています。この演奏では、リズムに合わせてベース音とコード音も鳴ります。お手本としてお聴きください。

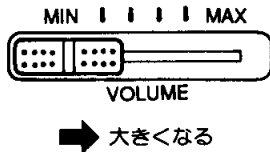
①電源スイッチをオン

電源スイッチをオンにして電源を入れます。電源を入れると、マルチディスプレイに00が表示されると共に、スタイルランプが点灯します。



②音量の調節

ボリュームを右方向にスライドさせて、適当な音量になるようにセットします。



③スタート

デモ演奏ボタンを押して、演奏をスタートさせます。スタートさせると、マルチディスプレイに“—”が表示されます。



※デモ演奏を鳴らしている中でも、パッドを叩いて音を加えることができます。

④停止

デモ演奏は、繰り返し再生されます。停止させる時は、スタート/ストップボタンまたはデモ演奏ボタンを押してください。

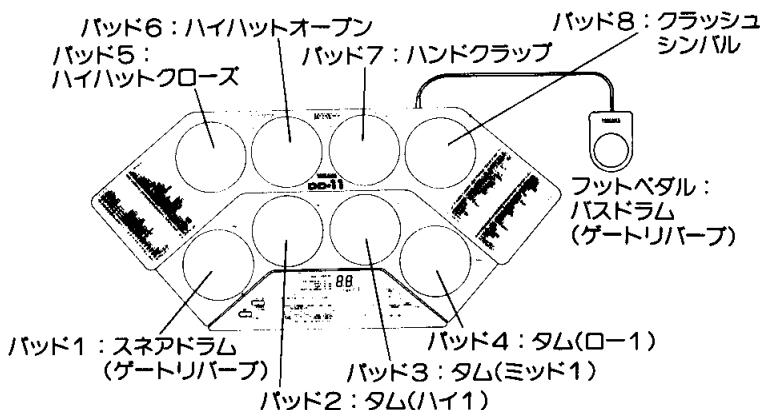


5. 好きな楽器音で叩こう

DD-11には8つのパッドとフットペダルがあります。実際にパッドを叩いたりフットペダルを踏んで、リズム演奏してみましょう。

※パッドを叩く強さによって音量が変わりますが、最大音量を越える必要以上の強さで叩いたり、踏んだりしないでください。故障の原因になることがあります。

※あらかじめ8つのパッドとフットペダルには、初期状態としてそれぞれ次のように楽器が割り当てられています。(この組み合わせはロックドラムセット1という組み合わせです。)



パッド感度の切替方法

パッドの感度を切り替えることができます。

感度を高くする場合：パッド/ペダル割当ボタンの▶を押しながら電源スイッチをオンにして、マルチディスプレイに“Hi”が表示されたら指を離します。すると感度が高くなります。

感度を低くする場合：パッド/ペダル割当ボタンの◀を押しながら電源スイッチをオンにして、マルチディスプレイに“Lo”が表示されたら指を離します。すると感度が低くなります。

※感度を高にした方が、同じ強さで叩いても大きな音で鳴ります。

※電源スイッチをオフにしても設定が記憶されます。ただし、乾電池または電源アダプターがセットされていないと、初期化されて高い方になります。

5-1. パーカッションセットの選択

DD-11にはロックドラムセット1を始め、楽器の組み合わせが次のように12種類記憶されています。これらの中から曲にマッチする組み合わせを選ぶことができます。

※5ページで示したように、下段左端のパッドをパッド1とし、上段右端のパッドまで順に1～8の番号で呼びます。下表でもこのパッドの位置に合わせて楽器名を表記しています。

セット番号	セット名	パッド				フットペダル
		1	2	3	4	
00	ロックドラムセット1	ハイハットクローズ	ハイハットオープン	ハンドクラップ	クラッシュシンバル	バスドラム (リバーブ)
		スネアドラム(リバーブ)	タム(ハイ1)	タム(ミッド1)	タム(ロー1)	
01	ロックドラムセット2	ハイハットクローズ	ハイハットオープン	ライドカップシンバル	クラッシュシンバル	バスドラム (1)
		スネアドラム(ロー)	タム(ハイ2)	タム(ミッド2)	タム(ロー2)	
02	ジャズドラムセット	ハイハットクローズ	ハイハットオープン	ライドシンバル	スブラッシュシンバル	バスドラム (2)
		スネアドラム(ハイ)	スネアドラム(リムショット)	タム(ハイ2)	タム(ロー2)	
03	ラテンパーカッション セット1	ボンゴ(ロー)	ボンゴ(ハイ)	ティンバレ(ロー)	ティンバレ(ハイ)	バスドラム (1)
		コンガ(ロー)	コンガ(ハイ)	コンガ(ミュート)	カウベル	
04	ラテンパーカッション セット2	クイーカ(ロー)	クイーカ(ハイ)	シェイカー	クラッシュシンバル	タム (ロー1)
		コンガ(ハイ)	コンガ(ミュート)	アゴゴ(ロー)	アゴゴ(ハイ)	
05	ビブラフォン(C3~C4)	G	A	B	C	#
06	マリンバ(C2~C3)					
07	スチールドラム(C3~C4)	C	D	E	F	
08	ティンパニ(C1~C2)					
09	オーケストラヒット(C2~C3)					
10	オートベースコード ※1	G/マイナー	A/マイナーセブンス	B/マイナーセブンスフラットファイブ	C/ディミニッシュ	#
		C/メジャー	D/メジャーセブンス	E/セブンス	F/セブンスサスフォー	
11	カスタムセット ※2	パッド1~8およびフットペダルに、自由に割り当て可能。				

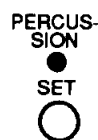
※1 10ページの“オートベースコード演奏をしてみよう”参照

※2 7ページの“パッドとペダルへの割り当て”参照

パーカッションセットの選択方法

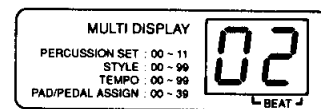
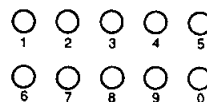
①パーカッションセットを可能に

パーカッションセットボタンを押してランプを点灯させ、パーカッションセットの選択が可能な状態にします。



②セット番号の選択

00~11の中から、セット番号を選んでください。たとえば、セット番号02のジャズドラムセットを選ぶ時は、0を押して、2を押します。



※電源スイッチをオンにした時は、セット番号00のロックドラムセット1になっています。

③演奏

実際にパッドを叩いたり、フットペダルを踏んでリズムを奏でてみてください。

※たとえば、ジャズドラムセットを選択した場合は、パッド1(下段左端のパッド)を叩くとスネアドラム(ハイ)の音が鳴ります。

5-2. パッドとペダルへの割り当て

各パッドへの楽器音の割り当てを変更して、好みの組み合わせにすることができます。楽器音は、それぞれ40種類の中から選択できます。

①楽器音の割り当て

パッド/ペダルアサインの◀または▶ボタンを押しながら、割り当て変更したいパッドを、希望する楽器の音が出るまで叩きます。(フットペダルの場合はペダルを踏みます。)



※下表の順に、割り当てが変わっていきます。希望する楽器音が鳴ったら、そこでそのパッド（およびペダル）の割り当ては完了です。

番号	楽器名	番号	楽器名
00	バスドラム(ゲートリバーブ)	20	ライドシンバルカップ
01	バスドラム(1)	21	ライドシンバル
02	バスドラム(2)	22	コンガ(ロー)
03	スネアドラム(ゲートリバーブ)	23	コンガ(ハイ)
04	スネアドラム(ロー)	24	コンガ(ミュート)
05	スネアドラム(ハイ)	25	ボンゴ(ロー)
06	スネアドラム(リムショット)	26	ボンゴ(ハイ)
07	タム(ロー1)	27	ティンパレス(ロー)
08	タム(ミッド1)	28	ティンパレス(ハイ)
09	タム(ハイ1)	29	クラベス(ロー)
10	タム(ロー2)	30	クラベス(ハイ)
11	タム(ミッド2)	31	アゴゴ(ロー)
12	タム(ハイ2)	32	アゴゴ(ハイ)
13	ハンドクラップ	33	クイーカ(ロー)
14	カウベル	34	クイーカ(ハイ)
15	シェイカー	35	ビブラフォン ※1(C3~C4)
16	ハイハットクローズ	36	マリンバ ※1(C2~C3)
17	ハイハットオープン	37	スチールドラム ※1(C3~C4)
18	クラッシュシンバル	38	ティンパニ ※1(C1~C2)
19	スプラッシュシンバル	39	オーケストラヒット ※1(C2~C3)

※1 番号35~39の楽器はパッドには割り当てることができますが、フットペダルにはできません。また35~39の楽器音を割り当てた場合は、パッドの位置によって音程が決まります。たとえば、パッド1,2に38 ティンパニを割り当てた場合にはパッド1はC1の音程で、パッド2はD1の音程で鳴ります。

※◀ボタンを押しながらパッドを叩くと逆の順序で（小さい番号の方向に）楽器が変わり、▶ボタンを押しながらパッドを叩くと正の順序で（大きい番号の方向に）変わります。

※マルチディスプレイには、番号00~39が表示されます。なお、フットペダルへの割り当てをしている時にF0~F5の文字が表示されることがありますが、これらの番号はフットペダルに別の機能を割り当ててる時のものです。(9ページ参照)

※パッド/ペダルアサインボタンを押しながらパッドを1度でも叩けば、0~9ボタンで番号を指定して割り当てすることもできます。

②他のパッドへの割り当て

割り当て変更したい他のパッド（およびペダル）にも、①の要領で割り当ててください。

※操作を終えると、設定した内容が11 カスタムセットに記憶されます。ただし、乾電池または電源アダプターがセットされていないと、初期化されてセット番号00と同じロックドラムセット1になります。

6. オートリズムを鳴らそう

DD-11には100種類のリズムスタイルがあります。いろいろなスタイルに切り替えて、鳴らしてみましょう。

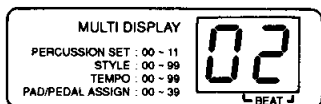
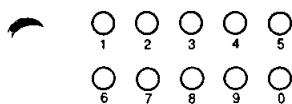
①スタイル選択を可能に

スタイルボタンを押してランプを点灯させ、リズムスタイルの選択が可能な状態にします。



②スタイルの選択

00～99の中から、リズムスタイルを選びます。たとえば02のポップロック3を選ぶ場合には、0ボタンを押してから、2を押します。(10の位の数字を押してから、1の位の数字を押します。)



※10の位を指定しただけでは、リズムは変わりません。

※電源スイッチをオンにした時は、00のポップロック1になっています。

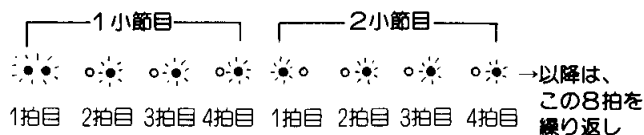
※リズムを2つ選んで、いっしょに鳴らすことはできません。

③リズムのスタート

スタート/ストップボタンを押して、リズムをスタートさせます。



※リズムをスタートさせると、マルチディスプレイ内の点が点滅し始めます。たとえば4拍子2小節パターンの場合には、次のように点滅します。



※演奏中に他のリズムスタイルに切り替えることもできます。

他のリズムスタイルの番号を指定すると、次の小節で切り替わります。

※オートリズムを鳴らしている最中にリズムスタイルを切り替えると、それまでのテンポを維持します。また、停止中に切り替えると、各リズムスタイルの標準テンポになります。

※オートリズムを鳴らしながら、パッドを叩いて音を加えることもできます。

なお、リズムスタイルを変更すると、パーカッションセット(パッドを叩いた時に鳴る音の組み合わせ)は、選んだスタイルにふさわしいものに切り替わります。ただし、パーカッションセットが10 オートベースコードや11 カスタムセットの場合は切り替わりません。

6-1. コントロール機能

リズムの速さ指定

テンポボタンを押すことにより、リズムの速さを調節できます。



※マルチディスプレイと音を確認しながら、00(♩ = 20)～99(♩ = 284)の範囲内100ステップの中で指定できます。

表示	00	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
♩ =	20	22	25	27	30	33	35	38	41	44	46	49	51	54	57	59	62	65	67	70
表示	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39
♩ =	73	75	78	81	83	86	89	91	94	97	99	102	105	107	110	113	116	118	121	124
表示	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59
♩ =	126	129	132	134	137	140	142	145	148	150	153	156	158	161	164	166	169	172	174	177
表示	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79
♩ =	180	182	185	188	190	193	196	199	201	204	207	209	212	215	217	220	223	225	228	231
表示	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99
♩ =	233	236	239	241	244	247	249	252	255	257	260	263	265	268	271	273	276	279	281	284

※ボタンを1秒以上押し続けると、値が連続して変化します。

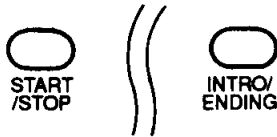
※テンポ変更中とテンポ変更後の約2秒間の間、テンポ値が表示されません。

※電源スイッチをオンにした時は、スタイル00の標準テンポ38(♩ = 121)になっています。

※◀と▶を同時に押すことにより、その時のスタイルの標準値に戻すこともできます。

スタート

リズムのスタート方法には、スタート/ストップボタンを押して普通のパターンからスタートさせる方法と、イントロ/エンディングボタンを押してイントロのパターンからスタートさせる方法の2種類あります。好みの方法でスタートさせてください。



※イントロパターンは1小節または2小節です。

フィルイン

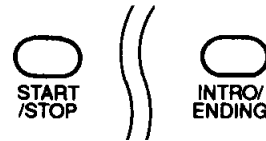
リズムの途中でフィルイン1または2ボタンを押すことにより、フィルインのパターンを入れることができます。リズムスタイルごとにフィルイン1と2の2種類のパターンがありますので、好みのパターンのボタンを押してください。



※フィルインパターンは、最長で1小節です。(押すタイミングで長さが異なります。)また、押し続けるとフィルインのパターンが繰り返されます。

停止

リズムの停止方法には、スタート/ストップボタンを押して普通のパターンで停止させる方法と、イントロ/エンディングボタンを押してエンディングのパターンで停止させる方法の2種類あります。好みの方法で停止させてください。



※ボタンを押した次の小節でエンディングパターンが鳴って停止します。

シンクロブレイク

シンクロブレイクボタンを押してボタン右のランプを点灯させておくと、シンクロブレイクが可能になります。シンクロブレイクは、オートリズムを鳴らしている途中で、パッドを叩いてリズムのフィルインを自分で演奏すると、その間オートリズムの音は鳴らない機能です。



※パッドを叩くのをやめると、次の小節からオートリズムが鳴り出します。

※シンクロブレイクの状態を解除する場合は、シンクロブレイクボタンを押してランプを消灯させてください。

6-2. フットペダルの機能選択

フットペダルは、通常はバスドラムなどの音を鳴らすために使いますが、必要に応じて次のいずれかの機能のスイッチに切り替えることができます。

機能	機能名
00	7ページ参照
34	
F0	35~39の楽器音を半音上げる
F1	スタート/ストップ
F2	フィルイン1
F3	フィルイン2
F4	イントロ/エンディング
F5	シンクロブレイク

※F0の機能を選択した場合は、演奏時にフットペダルを踏みながら叩くと、半音高い音で鳴ります。その他の機能を選択した場合は、パネル上の各ボタンと同じ働きをようになります。

切替方法

パッド/ペダル割当ボタンの◀または▶を押しながら、フットペダルを希望する機能の表示になるまで繰り返し踏みます。

※切り替え操作をすると、11 カスタムセットに記憶されます。ただし、乾電池または電源アダプターをセットしていないと初期化されてしまいます。

7. オートベースコード演奏をしてみよう

パーカッションセットの選択で10 オートベースコードを選ぶと(6ページ参照)、パーカッション感覚で、リズム、ベース、コードからなる伴奏音を鳴らすことができます。

演奏の方法

①リズムスタイルの指定

演奏する曲に合うリズムスタイルを指定します。
(8ページ参照)

②オートベースコードの状態に

パーカッションセットの選択を10 オートベースコードにします。(6ページ参照)

③伴奏の開始

コードはパッドを叩いて指定します。パッドを叩くと伴奏がスタートします。次の要領でコード指定してください。

パッド	1打目(根音を指定)		2打目(タイプを指定)
	1打目	2打目	
パッド1	C	C# (D♭)	メジャー(M)
パッド2	D	D# (E♭)	メジャーセブンス(M7)
パッド3	E	F	セブンス(7)
パッド4	F	F# (G♭)	セブンスサスフォー(7sus4)
パッド5	G	G# (A♭)	マイナー(m)
パッド6	A	A# (B♭)	マイナーセブンス(m7)
パッド7	B	C	マイナーセブンスフラットファイブ(m7-5)
パッド8	C	C# (D♭)	ディミニッシュ(dim)

コード指定には、次のように正確にコード指定する方法と、簡単にコード指定する方法の2つがあります。

・コードのタイプまで合わせる場合：

次のように連続して叩きます。

1. 根音のパッドを叩き、(根音が決まり)
2. 即座にタイプのパッドを叩きます。(タイプが決まる)

例) Bm(Bマイナー)のコードにする場合は、

パッド7、パッド5の順に、“タラッ”という感じで叩きます。

・コードの根音だけを合わせる場合：

根音のパッドだけ叩きます。すると、そのスタイルのキャラクターコード(スタイルにふさわしいコードタイプ)で鳴ります。

※1打目を叩く時、フットペダルを踏みながら行えば、コードが半音上がります。

※2打目を0.3秒以内に叩かないと、キャラクターコードになります。

※コード進行に合わせてコード指定してってください。

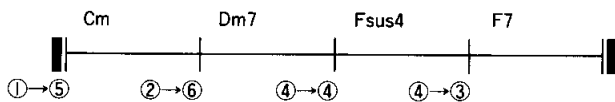
※フィルインを入れることも可能です。

④停止

スタート/ストップボタンまたはイントロ/エンディングボタンを押して停止させます。

練習してみよう

実際に次のコード進行でオートベースコード演奏してみましょう。各コードの下の番号は、叩くパッドの番号を表わします。



8. コードシーケンサー機能を使ってみよう

オートベースコードの伴奏(コード進行など)を記憶させることができます。記憶させることができるのは、リズムをスタートさせてから停止させるまでの間です。

伴奏を記憶させておけば、それを再生しながらパッド演奏することもできます。

8-1. 録音の方法

※ 次の内容を記憶させることができます。

- ・コード進行
- ・フィルイン1、2
- ・イントロ/エンディング
- ・スタート/ストップ
- ・ベース音/コード音が鳴り始めるタイミング

※ プレイ1、2、3にそれぞれ伴奏を記憶させることができます。(合計3曲)

※ 記憶容量には制限があり、制限に達すると録音が中止されます。たとえば、1小節に1回コードチェンジすると約60小節で制限に達します。

※ 記憶しなおすと、前の内容が消えます。

※ プレイ1、2、3には、あらかじめ次のような進行がお手本として記憶されています。自分の伴奏を記録すると、これらの進行は強制的に消えます。ただし初期化という操作をすれば、これらの進行に戻すことができます。(17ページ参照)

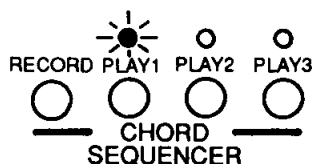
プレイ1	♯	CMaj		CMaj7		Am		Am7		「フィルイン1」	
				Dm		Dm7		G7sus4		G7	」
プレイ2	♯	G7		C7		G7		G7		「フィルイン1」	
				C7		C7		G7		G7	」
				「フィルイン2」				Bm7/E7		「フィルイン1」	
				Am7		D7		G7		Am7/D7	」
プレイ3	♯	CMaj7		Cm7		CMaj7		Fm7/B ^b 7		「フィルイン1」	
				E ^b Maj7		A ^b 7		D ^b Maj7		「フィルイン1」	
				Cm7		Fm7		B ^b 7		「フィルイン2」	
				A ^b Maj7		Fm7		Dm7		「フィルイン1」	
										G7sus4/G7	」

(4/4拍子のスタイルの場合に限る)

①記憶スタート待ちの状態に

録音ボタンを押しながら、プレイボタンのいずれかを押します。すると、記憶スタート待ちの状態になります。

押したボタンが点滅します。



※自動的にパーカッションセット10のオートベースコードの状態になります。

②リズムスタイルの選択

曲に合ったリズムスタイルを指定します。

③テンポ調節

演奏しやすい速さにします。

④記憶スタート

記憶をスタートさせてください。3種類のスタート方法があります。

- ・スタート/ストップボタンを押して、リズムからスタートさせる。
- ・イントロ/エンディングボタンを押して、イントロのリズムからスタートさせる。
- ・パッドを叩いて、最初からリズム、ベース、コードの伴奏からスタートさせる。

※曲の流れに沿って、オートベースコード演奏と同じ要領でコード指定してってください。

⑤停止

記憶を終了します。3種類の方法があります。

- ・スタート/ストップボタンを押して停止させる。
- ・イントロ/エンディングボタンを押して、エンディングパターンを最後に停止させる。
- ・記録していた番号のプレイボタンを押して停止させる。

※曲の流れに沿って、オートベースコード演奏と同じ要領でコード指定してってください。

8-2. 再生の方法

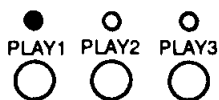
①再生前の設定

リズムスタイルとテンポを設定します。録音時と設定を変えてもかまいませんが、スタイルは同じ拍子のものを選んでください。たとえば、4/4拍子の曲を3/4拍子で再生させるとおかしな曲になってしまいます。

②再生スタート

再生させる曲のボタンを押します。するとすぐに再生が始まります。

押したボタンが点灯します。



③必要に応じて

再生音に合わせて、パッド演奏が可能です。

※スタイルの切り替えやテンポ変更、パーカッションセットの変更、フィルインの追加も可能です。

④停止

再生は繰り返されます。スタート/ストップボタン、または再生させていた曲のプレイボタンを押して、再生を終了させます。

※オートベースコード演奏しながら再生させたり、リズムを鳴らしながら再生させることも可能です。

※イントロ/エンディングボタンを押した場合は、イントロパターンを最後に一旦終了しますが、2秒後に再び最初から再生が始まります。

9. MIDI機能でステップアップ

DD-11はMIDI機能(MIDI端子)を持った楽器です。MIDIという言葉はミュージカル・インストゥルメント・デジタル・インターフェイス (Musical Instrument Digital Interface) の頭文字をとったもので、“ミティ”と読みます。MIDIは、2台以上のMIDI製品を接続して、それらの間で、演奏にまつわる様々なコントロールをさせようという目的で考え出された世界統一規格です。

DD-11には、次の2種類のMIDI端子があります。

MIDI OUT(ミティアウト)：

DD-11のパッドでの演奏やオートリズム、オートベースコードの情報を出力します。

MIDI IN(ミティイン)：

他のMIDI製品からの情報を入力します。

MIDI接続には、別売のMIDIケーブルが必要です。

MIDIケーブル(MIDI-15：15m) ¥3,000

(MIDI-03：3m) ¥1,100

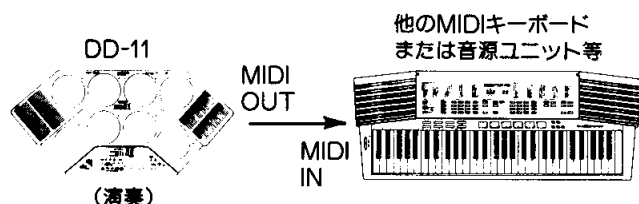


MIDIでできること

MIDI OUT端子を使ってできること

◆MIDIキーボードまたは音源ユニットを接続した場合

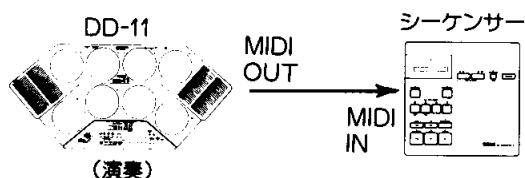
- ・DD-11のパッドを叩くと、接続した製品もそれ自身の音色で同時に鳴ります。つまり、接続した製品の音を同時に鳴らすことができ、音に厚みがでます。
- ・オートリズムを鳴らした時やオートベースコード演奏時にも、同時になります。



◆MIDIシーケンサーを接続した場合

(MIDI信号などデジタル情報で演奏を記録する機器は、一般にシーケンサーと呼ばれています)

- ・DD-11でのパッド演奏の内容を、MIDIシーケンサーに記録できます。MIDIシーケンサーには多くの曲を記録しておくことができ、後でそれを再生できます。
- ・オートリズムやオートベースコード演奏も記録できます。
- ・パーカッションセットの選択や、パッド/ペダルへの割り当ての情報も記録できます。

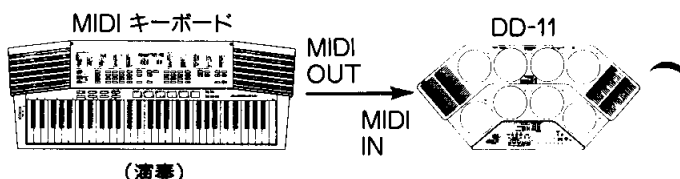


※DD-11はフロックやスタート、ストップの情報は送受信しません。したがって、スタートやストップは両方の機器上で手動で操作してください。また、両機の間でテンポを合わせても、途中で拍子がずれることがあります。

MIDI IN端子を使ってできること

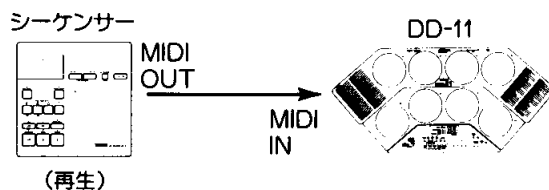
◆MIDIキーボードに接続した場合

外部のMIDIキーボードで演奏して、DD-11の楽器音を鳴らすことができます。つまり、DD-11のパッドでなく、キーボードの鍵盤でパッド演奏できます。(DD-11のパッドに割り当てない楽器音でも鳴らせます。)



◆MIDIシーケンサーに接続した場合

MIDIシーケンサーに記録済みの演奏内容を、DD-11の楽器音で再生できます。



MIDI送信チャンネルの設定方法

他のMIDI製品に情報を送るためには、DD-11のMIDI送信チャンネルと他のMIDI製品のMIDI受信チャンネルを一致させるか、または他のMIDI製品をオムニオンの状態にする必要があります。本機のMIDI送信チャンネルの初期値は音色ごとに決まっていますが、他のMIDI機器のMIDI受信チャンネルをこの初期値に合わせられない場合は、ここに示すMIDI送信チャンネルの設定をしてください。

- ①MIDI送信チャンネルボタンを押しながら、
- ②0～9ボタンを押してMIDI送信チャンネルを、1～16チャンネルの範囲で設定します。(マルチディスプレイを見ながら行ってください。)

※MIDI送信チャンネルを設定していない初期値の時点では、①の操作を行った時“—”と表示されます。そして、チャンネル番号を指定した後は、MIDI送信チャンネルボタンを押している間、指定した番号を表示します。

※チャンネル設定を間違えた場合には、入力しなおしてください。

※電源スイッチをオンにしなおすと、設定したチャンネルは消えてしまいます。

※DD-11はタイミングクロックの情報は、送信、受信共しません。

MIDIデータ表

楽器名	ノートNo.	初期値		設定範囲		送信時		受信時		
		プログラムNo.	チャンネルNo.	プログラムNo.	チャンネルNo.	ノートNo.	プログラムNo.	チャンネルNo.		
パ ッ ド 演 奏 用	バスドラム(ゲートリバーブ)	C1	36	×	16	×	1-16	送信時と同様	×	16
	スネアドラム(ゲートリバーブ)	D1	38							
	タム(ロー1)	F1	41							
	タム(ミッド1)	F#1	42							
	タム(ハイ1)	G1	43							
	バスドラム(1)	G#1	44							
	バスドラム(2)	A1	45							
	タム(ロー2)	C2	48							
	スネアドラム(ハイ)	C#2	49							
	タム(ミッド2)	D2	50							
	スネアドラム(リムショット)	D#2	51							
	スネアドラム(ロー)	E2	52							
	タム(ハイ2)	F2	53							
	ハンドクラップ	F#2	54							
	カウベル	G2	55							
	シェイカー	G#2	56							
	ハイハットクローズ	A2	57							
	ハイハットオープン	B2	59							
	クラッシュシンバル	C3	60							
	スプラッシュシンバル	C#3	61							
	ライドシンバルカップ	D3	62							
	ライドシンバル	D#3	63							
	コンガ(ロー)	E3	64							
	コンガ(ハイ)	F3	65							
	コンガ(ミュート)	F#3	66							
	ボンゴ(ロー)	G3	67							
	ボンゴ(ハイ)	G#3	68							
ティンバレス(ロー)	A3	69								
ティンバレス(ハイ)	A#3	70								
クラベス(ロー)	C4	72								
クラベス(ハイ)	C#4	73								
アゴゴ(ロー)	D4	74								
アゴゴ(ハイ)	D#4	75								
クイーカ(ロー)	E4	76								
クイーカ(ハイ)	F4	77								
ビブラフォン	C3-C4 #	60-73	07	1				C0-C7 24-108	07	1-15
マリンバ	C2-C3 #	48-61	08	2					08	
スチールドラム	C3-C4 #	60-73	09	3					09	
ティンパニ	C1-C2 #	36-49	66	4					66	
オーケストラヒット	C2-C3 #	48-61	90	5					90	
オ ー ト コ ー ド ベ ー ス 用	シンセブラス	C2-C4	48-72	00	10-14	設定できない			00	
	ピアノ	C2-C4	48-72	03	10-14				03	
	エレクトリックピアノ	C2-C4	48-72	05	10-14				05	
	エレクトリックギター(ミュート)	C2-C4	48-72	70	10-14				70	
	ウッドベース	C1-C3	36-60	14	15				14	
エレクトリックベース	C1-C3	36-60	79	15				79		

×：なし

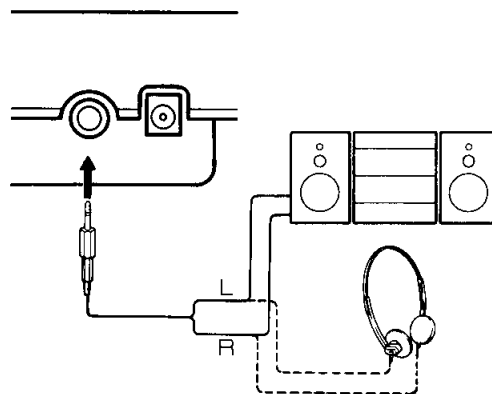
ファンクション	送信 バンド コード ベース リズム	受信	備考
ベーシック 電源ON時 チャンネル 設定可能	1~5,16 10~14 15 16 1~16	1~16 ×	14ページの表を参照
モード 電源ON時 メッセージ 代用	モード3 × *****	モード3 × ×	
ノート ナンバー 音域	36~77 *****	24~108 24~108	14ページの表を参照
ベロシティ ノート・オン ノート・オフ	○ 9nH、v= 1~127 × 9nH、v= 0	○ 9nH、v= 1~127 × 9nH、v= 0 /8nH	
アフター キー別 タッチ チャンネル別	× ×	× ×	
ピッチ・ベンダー	×	×	
コントロール チェンジ	×	×	
プログラム チェンジ 設定可能範囲	○ *****	○	14ページの表を参照
エクスクルーシブ	×	×	
コモン ソング・ポジション ソング・セレクト チューン	× × ×	× × ×	
リアル クロック タイム コマンド	× ×	× ×	
その他 ローカルON/OFF オール・ノート・オフ アクティブ・センシング リセット	× × ○ ×	× × ○ ×	
備考			

モード1：オムニ・オン、ポリ モード2：オムニ・オン、モノ ○：あり
 モード3：オムニ・オフ、ポリ モード4：オムニ・オフ、モノ ×：なし

10. 他の機器と接続するには

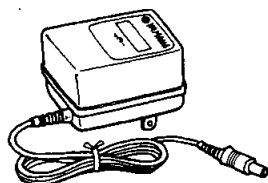
リアパネルのヘッドホン/AUX出力端子を使いステレオなどに接続して、より大きな音で鳴らしたり、カセットテープに演奏を録音することができます。また、ヘッドホンを接続して外に音を出さずに演奏できます。

- ※ステレオに接続した時はDD-11のボリュームは8分目にして、ステレオのボリュームで音量を調節してください。
- ※この端子にプラグを差し込むと、DD-11のスピーカーからは音が出なくなります。
- ※ステレオに接続する場合は、接続コードとステレオ変換プラグが必要です。



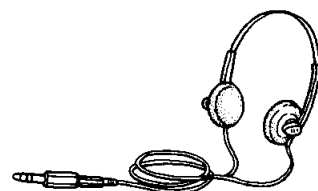
11. オプション(別売品)のご紹介

・電源アダプター・PA-3 ¥2,000



- ・ステレオヘッドホン・HPE-3 ¥3,000
- ・ステレオヘッドホン・HPE-5 ¥5,500

図はHPE-3



※表示の価格には、消費税は含まれていません。

12. おかしいな?と思ったら

おかしいな?と思った時は、この表を見てください。

現象	原因	解決法
電源スイッチをオンまたはオフにした時、“ブツ”と音がする。	電流が流れたため。	ご心配いりません。
スピーカーから全く音が出ない。	音量が下がっている。	ボリュームを上げてください。
	ヘッドホン/AUX出力端子にプラグを差しているため。	プラグを抜いてください。
マルチディスプレイが暗い。または音が歪む。	乾電池が寿命のため。	6本共新しいものと交換してください。
テンポが変わらない。	一番遅い状態よりも遅くしようとしている。または、一番速い状態よりも速くしようとしている。	100ステップの範囲でテンポ調節します。
パッドを叩いても、割り当てた音が出ない。	正確にパッドへの割り当てをしていない。	割り当てしなおしてください。(7ページ参照)
	11 カスタムセット以外のパーカッションセットになってしまったため。	11 カスタムセットの状態にしてください。
コードシーケンサーに記憶させた内容が消えてしまっている。	乾電池がない、または電源アダプターを接続していない。	次のどちらかの方法で、電源を切っても記憶されるようにしてください。 ・乾電池を入れておく ・電源アダプターを接続しておく *乾電池は寿命がくると記憶内容が消えてしまいます。 *長い間使用しない場合は、電源アダプターを接続しておかずに、その都度記憶させてください。
11 カスタムセットに記憶させた楽器の割り当てが消えて、00 ロックドラムセット1の組み合わせになっている。		
パッド感度の設定が消えてしまっている。		
次の内容が消えてしまっている。 ・パーカッションセットの選択 ・スタイルの選択 ・テンポの設定 ・シンクロブレイクのオン/オフ ・MIDI送信チャンネル	電源スイッチをオンにしなおしたため。	設定しなおしてください。
お手本として記憶されていたコード進行が消えてしまっている。	自分でコード進行を記憶させると、消えてしまいます。	お手本を呼び出しなおす場合は次の方法で初期化を行ってください。ただし、自分で記憶させた他の設定も消えてしまいますのでご注意ください。 ①0 ボタンを押しながら、 ②電源スイッチをオンにする。 ③マルチディスプレイに“—”が表示されたら、操作を終る。
マルチディスプレイに“E1”が表示された。	最大同時発音数の28音を越えたため。	28音以上の音は同時に発音させることはできません。パネル上のボタンを何か1つ押せば、通常の状態に戻すことができます。
マルチディスプレイに“E2”が表示された。	MIDI受信でエラーが発生したため。	発音が中止されますが、パネル上のボタンを何か1つ押せば、通常の状態に戻すことができます。
パッドを叩くと、マルチディスプレイが“00”になる。	乾電池が寿命のため。	6本共新しいものと交換してください。
コードの変更がうまくできない。	パッドを叩くタイミングがずれている。	リズムに合わせて、パッドを素早く叩いてください。
コード進行は合っているが、異なった感じで再生されてしまう。	・スタイルが異なっている。 ・テンポが変わっている。	スタイルとテンポを指定しなおしてください。
オートベースコード演奏しても、ベース音とコード音が聞こえない。	スタイルを98または99にしているため。	スタイル98および99の場合は、ベース音とコード音は鳴りません。

13. 仕様

パッド

8ヶ

オートリズムスタイル(100種類)

ポップロック1、ポップロック2、ポップロック3、
ハードポップ1、ハードポップ2、M.O.R.1、M.O.R.2、
M.O.R.3、M.O.R.4、バウンスロック1、バウンスロック2、
ロックンロール1、ロックンロール2、50'Sロックンロール、
ハードロック1、ハードロック2、ヘビーメタル、
スピードメタル、ファンク1、ファンク2、ファンク3、
ファンク4、ラップビート、リズム&ブルース1、
リズム&ブルース2、リズム&ブルース3、ソウル1、
ソウル2、ソウル3、シャッフル1、シャッフル2、
シャッフル3、スローブルース、ロックバラード1、
ロックバラード2、フギウギ、カントリー&ウエスタン、
ユーロビート、テクノロック、パンクロック、
プログレッシブロック1、プログレッシブロック2、
サザンロック、フュージョン1、フュージョン2、
フュージョン3、ディキシーランドジャズ、
ビックバンドジャズ、ビーバップ、モダンジャズ、
クールジャズ、フリージャズ、スイング1、スイング2、
スイングフルツ、フルツ、ロックフルツ、
サンバカーニバル、ジャズサンバ、フュージョンサンバ1、
フュージョンサンバ2、ボサノバ1、ボサノバ2、
スイングボサ、ランバダ、レゲエ1、レゲエ2、
フュージョンレゲエ、スカ、マンボ、ルンバ、チャチャチャ、
ビギン、メレンゲ、グアラチャ、グアヒーラ、ハバナ、
チャランガ、モザンビーク、バコテ、オリッサ、カリブ、
サルサ、フュージョンサルサ、クンビア、ブレナ、マペイエ、
ソニアフロ、タンバリート、タンゴ、マーチ1、マーチ2、
ターキッシュマーチ、ジongo、ボレロ、ラテンボレロ、
フラメンコ、バイオン、ガムランケチャック、
ポリネシアンビート

楽器音(パッド対応40種類、フットペダル対応35種類)

バスドラム(ゲートリバーブ)、バスドラム(1)、バスドラム(2)、
スネアドラム(ゲートリバーブ)、スネアドラム(ロー)、
スネアドラム(ハイ)、スネアドラム(リムショット)、
タム(ロー1)、タム(ミッド1)、タム(ハイ1)、タム(ロー2)、
タム(ミッド2)、タム(ハイ2)、ハンドクラップ、カウベル、
シェイカー、ハイハットクローズ、ハイハットオープン、
クラッシュシンバル、スプラッシュシンバル、
ライドシンバルカップ、ライドシンバル、コンガ(ロー)、
コンガ(ハイ)、コンガ(ミュート)、ボンゴ(ロー)、
ボンゴ(ハイ)、ティンパレス(ハイ)、クラベス(ロー)、
クラベス(ハイ)アゴゴ(ロー)、アゴゴ(ハイ)、クイーカ(ロー)、
クイーカ(ハイ)、ヒブラフォン(C3~C4、パッドのみ)、
マリンバ(C2~C3、パッドのみ)、
スチールドラム(C3~C4、パッドのみ)、
ティンパニ(C1~C2、パッドのみ)、
オーケストラヒット(C2~C3、パッドのみ)

コントロール

電源スイッチ、ボリューム、マルチディスプレイ、
コードシーケンサー録音ボタン、
コードシーケンサー再生1・2・3ボタン、
リズムコントロールスタート/ストップボタン、
リズムコントロールフィルイン1・2ボタン、
リズムコントロールイントロ/エンディングボタン、
リズムコントロールシンクロナイズボタンとランプ、
テンポボタン(◀・▶)、1~0ボタン、
パーカッションセットボタンとランプ、
スタイルボタンとランプ、パッド/ペダル割当ボタン(◀・▶)、
MIDI送信チャンネルボタン、デモ演奏ボタン、パッド

表示

2桁マルチディスプレイ(パーカッションセット、スタイル、
テンポ、パッド/ペダルへの割り当て、拍子を表示)、
スタイルリスト、コードタイプ表記

付属端子

電源アダプター接続用端子、ヘッドホン/AUX出力端子、
MIDI(イン、アウト)端子、フットペダル端子

メインアンプ

3W(8Ω)×2

スピーカー

(10cm(8Ω)×2

定格電源

DC9V：単2乾電池6本、
電源アダプター(PA-3、PA-4)

消費電力

乾電池使用時 : 2.5W
電源アダプター使用時 : 5.5W

電池寿命

約5時間(マンガン電池使用、デモ演奏、ボリューム最大時)

外装

(間口)608mm×(奥行)281mm×(高さ)105mm

重量

2.5kg(乾電池重量含まず)

付属品

スティック1個、フットペダル1個、乾電池6本

14. アフターサービスと保証

サービスのご依頼は、お買い上げ店へお申し付けください。

- 本機の保証は、保証書によりご購入から満1年です。
(日本国内のみ有効)
- 保証期間の1年を過ぎても有償にて責任をもってサービスを実施いたします。尚、補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後最低8年となっております。また、保証期間中の修理などアフターサービスについてご不明の場合は、お買い上げ店か下記、お近くのサービス網宛お問い合わせください。

■お買い上げ店による修理調整

故障の場合は、直接お買い上げ店にお持ち込みください。責任を持って修理調整をいたします。

■サービスをご依頼される前に

ご使用中に“故障ではないか”と思われましたら、まず本書の“おかしいなと思ったら”の項を一度お読み頂き、お確かめください。(ご依頼をお受けして点検いたしますと、故障でない場合でも点検代を申し受けることもございます。)

■サービスのご依頼

サービスをご依頼なさるときは、お名前、ご住所、電話番号などをハッキリお知らせください。またお勤めで昼間ご不在の方は、お勤め先の電話番号、もしくは連絡方法をお知らせください。(楽器の具合をもう少し詳しくおたずねしたいときや、万一やむをえぬ事情によって、お約束を変更しなければならないようなときにお客さまにご迷惑をおかけしなさいませんように)

ヤマハ電気音響製品アフターサービス拠点

(修理受付および修理品お預り窓口)

北海道サービスセンター	〒064 札幌市中央区南十条西1-1-50 ヤマハセンター内 TEL. 011-513-5036
仙台サービスセンター	〒983 仙台市若林区卸町5-7 仙台卸商共同配送センター3F TEL. 022-236-0249
新潟サービスセンター	〒950 新潟市万代1-4-8 シルバーボールビル2F TEL. 025-243-4321
松本サービスステーション	〒390 松本市大手2-5-2 中村屋ビル3F TEL. 0263-32-5930
東京サービスセンター	〒101 東京都千代田区神田駿河台3-4 龍名館ビル TEL. 03-255-2241
首都圏サービスセンター	〒211 川崎市中原区木月1184 TEL. 044-434-3100
浜松サービスセンター	〒435 浜松市上西町911 ヤマハ榊宮竹工場内 TEL. 0534-65-1158
名古屋サービスセンター	〒454 名古屋市中川区玉川町2-1-2 ヤマハ榊名古屋流通センター3F TEL. 052-652-2230
京都サービスセンター	〒600 京都市下京区七条通間之町東入材木町483 第2マスイビル3F TEL. 075-361-6470
大阪サービスセンター	〒565 吹田市新芦屋下1-16 ヤマハ榊千里丘センター内 TEL. 06-877-5262
神戸サービスセンター	〒650 神戸市中央区元町2-7-3 ヤマハ榊神戸店内 TEL. 078-321-1195
四国サービスセンター	〒760 高松市丸亀町8-7 ヤマハ榊高松店内 TEL. 0878-22-3045
広島サービスセンター	〒731-01 広島市安佐南区西原2-27-39 TEL. 082-874-3787
九州サービスセンター	〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4 TEL. 092-472-2134
(本社) 電音サービス部	〒435 浜松市上西町911 TEL. 0534-65-1158

YAMAHA

YAMAHA CORPORATION

ヤマハ株式会社

北海道支店 LM営業課	〒064 札幌市中央区南十条西1-1-50 ヤマハセンター TEL. 011-512-6113
仙台支店 LM営業課	〒980 仙台市青葉区大町2-2-10 住友生命仙台青葉通ビル TEL. 022-222-6140
東京支店 特販営業課	〒104 東京都中央区銀座7-9-18 パールビル TEL. 03-572-3130
名古屋支店 LM営業課	〒460 名古屋市中区錦1-18-28 TEL. 052-201-5150
大阪支店 特販営業課	〒542 大阪市中央区南船場3-12-9 心齋橋プラザビル東館 TEL. 06-252-7491
広島支店 LM営業課	〒730 広島市中区紙屋町1-1-18 TEL. 082-244-3749
九州支店 LM営業課	〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4 TEL. 092-472-2130
本社 電子楽器営業部	〒430 浜松市中沢町10-1
ポータブル楽器営業課	TEL. 0534-60-3271

※住所および電話番号は変更になる場合があります。